



「オール与党」議会の中で 原市政が推進する「七つの悪政」

鉄道高架などムダ使いを止め

市民の暮らしや防災充実に予算を

前号に『こんな悪い予算まで「なんでも賛成」：市民の暮らしを壊す「オール与党」』『是は是、非は非を貫く日本共産党こそ、かけがえのない「市民の議席」を掲載しましたが、早速「よくわかった」「がんばって」などなど、多くの感想が寄せられています。

「鉄道高架などムダ使いを止め、市民の暮らしや防災充実に予算を」と求め、この悪政を変えるため、私たち日本共産党市議団五名は、市民のみならずと力を合わせ、がんばっています。

① 庶民大増税の実施

昨年六月、国が大増税を実施し、多くの市民からの抗議や「何かの間違いでないのか」という問い合わせが、市役所に殺到しました。

それに対し、原市政は何の救済策も講じず、**国の悪政を、そのまま市民に押しつける役割を果たして**います。

また、大増税に伴う福祉の後退もそのまま：**市バス無料乗車証の交付を受けられない市民が四千人も**出ているのに、放置したままです。

② 福祉・くらしの切捨て

一般会計から介護保険への繰入金



一億九千万円を打ち切り、基準額を月千八百円も引き上げ。その上、住民税引き上げに伴う保険料の負担増を、そのまま市民に押しつけてきました。

国民健康保険では、前年度の七%引き上げに続いて四%連続引き上げし、所得に占める保険料の割合は、県都で全国一高くなりました。高すぎて払いきれない市民には、**短期保険証や資格証明書を発行する冷酷な市政**です。

また、七十七歳の**喜寿の祝い金を廃止し、百歳以上の祝い金も削減**しました。



③ 公共料金引き上げ

この間、幼稚園保育料、下水道料金をはじめ各種公共料金を引き上げました。

④ ムダな公共事業を推進

財政危機宣言を出し、「財政難だから」と市民に負担増を押しつける一方で、徳島駅付近の旧国鉄用地を取得し、**七百五十億円もの鉄道高架事業**を強引に推進しています。

また、ゼネコンの仕事づくりである**新町西地区の再開発ビル**に、市民の要望に程遠い音楽芸術ホールを建設しようとしています。

その他、ムダな大型公共事業である**旧吉野川流域下水道、広域農道整備事業、農地防災事業**も推進しています。

⑤ おさなりの耐震対策

徳島市の耐震対策は全国最低クラスで、津波からの避難場所の確保も、ほとんどできてい



【裏面につづく】

ない状態です。

南海・東南海地震で「徳島市内の九千九百七十戸が全壊する」予測が出ていますが、耐震診断目標は、わずか二千五百戸。耐震補強工事は、ほとんどなされていません。工事費平均は百七十万円程ですが、補助金は最高で六十万円。「お金が無いからあきらめる市民が多い」状態です。

横浜市では非課税世帯に二百二十五万円、課税世帯に百五十万円助成して、耐震化をすすめています。徳島市でも実施すべきです。



⑥ 国民保護計画の策定

日本を戦争をする国に変える様々な策動が続けられている中、国の有事を想定した国民保護法を受けて、徳島市国民保護計画が作られようとしています。

この計画は、テロやミサイル攻撃から住民を守るというものが、その計画作りにから実際の有事の際の行動、特にその訓練の



場に自衛隊が前面に出て、関与してきます。

「非核平和都市宣言をした徳島市」にふさわしくない、この計画を止めさせなければなりません。

⑦ 市民に幻想を振りまく 中核市構想の推進

原市政は周辺市町村を合併し、四十万人規模の中核市をめざすという幻想を振りまいています。市民の願いには逆行しています。アンケートの結果、市民の四十八・八％は「中核市にこだわることなく、現在の人口規模で、自然や快適性に配慮し、暮らしやすさを追求したまちづくりをすすめる」ことを求めています。

前号の続き： 一斉地方選挙に向かう 日本共産党徳島市議団の 政策（その二）

大型開発を見直し 地域密着型の公共事業を

① 鉄道高架事業など、大企業・ゼ

ネコン優先の公共事業を改め、地元業者で請け負える耐震対策をはじめ、市民の生活環境の改善や、福祉の向上に役立つ、地域密着型の公共事業をすすめます。

② 耐震対策をすすめる、個人住宅の耐震診断を拡充し、耐震対策には**百五十万円まで助成**します。

③ 市営住宅の建設、生活道路の整備、合併浄化槽の設置、公園の整備など、**生活環境をよくする事業**をすすめます。

④ **住宅リフォームの助成制度**をつくりまします。

⑤ **小規模公共工事への登録制度**を実現し、地元業者に仕事が増えるようにします。

⑥ 事業評価制度を充実させ、**不急の公共工事の見直し**をすすめます。

主体性のある市政の確立 公正でガラス張りの 市政への転換

① **行政と部落開放同盟の癒着**を断ち、行政の主体性を確立します。

② 一般行政の中に残された「**同和優先**」を止めさせ、公正な行政を実現します。

③ 「**同和優先**」のゆがんだ「**人権**」教育・啓発を改善します。

④ **不透明な入札制度や談合疑惑**など、利権構造にメスを入れます。

⑤ **情報公開制度を充実**させ、ガラス張りの市政をすすめます。

⑥ **親切で明るい窓口づくり**に努め、ムダのない、市民を大切に**する行政に改めます。**

ホット ひといき

「ズバリわかる報告会」：一月二十八日の

沖洲コミセンと二月三日の渭東コミセン：どちらもホールいっぱいの方々がお越しくださり、熱気あふれる議会報告会になりました。

報告会のサブタイトルは「なんでくらしが厳しいの?」「防災はだいじょうぶ?」参加者のみなさんから「よくわかった」などの感想がたくさん寄せられており、感激しています。

また報告会で、「結成して十八年になるバンド」のことや、「作詞作曲とベースを担当している」こともチョコットお話し、自作の『干潟を渡る風』をアカペラで歌いあげました。「心に浸みてきました」「コンサートに行きたい」などの声をたくさんかけていただき、うれしかったです。

